

- ・教科書活用について
- ・教科書の使い方サイト紹介
- ・東祖谷中学校授業実践

1人1台端末の活用が進み、授業のかたちは変わり始めています。子供たちが自分のペースで考え、友達と学び合い、必要に応じて端末を使いながら学習を進める場面が増えています。こうした学びを確かなものにするために欠かせないのが、教科書から必要な情報を読み取り、関連付けて理解する力です。

GIGAスクール時代の教科書活用

教科書を根拠として活用できるかどうか、学びの質を左右する重要な基盤となります。

Q：なぜ教科書を読む力が必要なのですか？

A：学ぶ内容の中心となる情報は教科書に整理されています。本文・図・写真・資料を関連付けて読むことで、自分で学習を進め、考えを深めることができ、探究的な学びやICT活用の質も高まります。



Q：子供が教科書を読めないと、どのような困りごとが起きますか？

A：必要な情報を見落とししたり、本文と図表の関係がつかみにくくなったりして、理解が部分的になりやすくなります。どこに注目して読めばよいかが分かると、学習の見通しが立ち考えをまとめる力も育ちます。

Q：教科書読解力を育てるために、どんな学習が必要ですか？

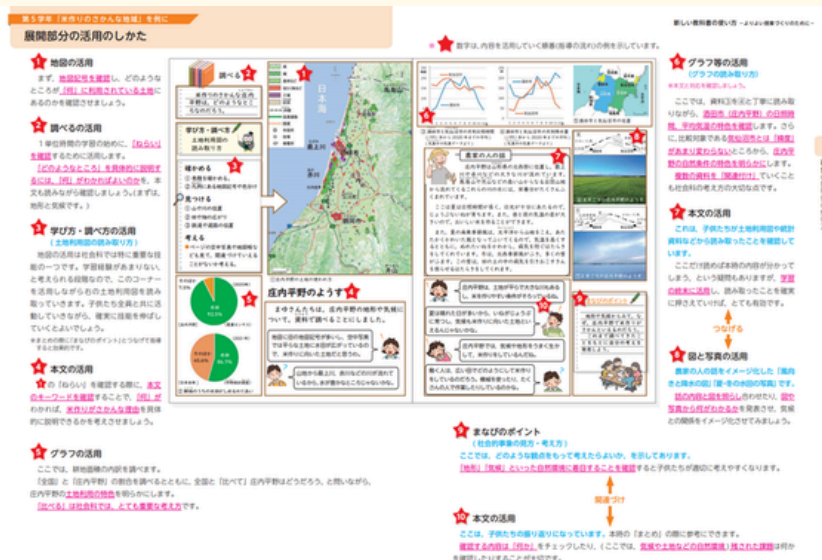
A：大事だと思う箇所に自分で線を引く、図やグラフと本文を照らし合わせる、情報の根拠を自分で見つけるなど、教科書を手掛かりに自分で読む経験を積むことが大切です。「先生の説明を聞く」だけでは読解力は身に付きません。

Q：ICT活用と教科書読解は、どのようにつながるのですか？

A：教科書で根拠を確かめながら学ぶことで、資料のまとめ方や調べ学習の視点が安定し、他者のスライドを参考にする「他者参照」も学びの質向上につながります。ICTは考える力を支える道具であり、その基盤に教科書読解力があります。

“教科書をどう読むか”が分かる資料のご紹介

公益財団法人教科書研究センターでは、教科書に込められた意図やページごとの使い方が一目で分かる資料を公開しています。



例えばこのページでは、

- 地図・写真・資料・グラフの読み取り方
- 本文とのつながりの見つけ方
- 学びを深めるための読み進め方

などを、1つの見開きを例に整理しています。さらに、小学校・中学校の各教科について、教科書のどこをどのように活用できるかが、具体例とともに紹介されています。ぜひご覧ください。

▼ 教科書研究センター

「新しい」教科書の使い方



<https://textbook-rc.or.jp/tsukaikata/>

※ 本資料の掲載にあたっては、教科書研究センターより著作権利用の承諾を得ています。

リーディング
DXスクール認定校

東祖谷中学校における「Gems」活用の授業実践

東祖谷中学校では、生成AI「Gemini」の機能 Gems を授業に取り入れ、A Iとの対話を通して“理解を深める”新しい学びに取り組んでいます。

◆ Gems はどんな役割？

- 先生が準備した質問セット（テンプレート）を、生徒がそのまま使える仕組みです。
- 生徒はプロンプト入力が必要で、学習のスタートにスムーズに入れます。

◆ 本授業の生成A I はどんな役割？

- 生徒と対話し、考えを引き出したり、教科書に戻る視点を促したりする存在です。
- 答えを単に示すのではなく、理解を深めるための“問い返し”を行います。



Gems ならプロンプト不要

生徒とA Iの学びがすぐ始まる！

※ 三好市教育委員会のもと、保護者の同意を得て安全な環境を整えた上で活用しています。



グーグル合同会社は、生成AI「Gemini」を安全に活用するための教材として、

「Geminiパスポート」 https://services.google.com/fh/files/misc/gemini_passport_for_students.pdf

「学校のためのプロンプトライブラリ」 https://services.google.com/fh/files/misc/gemini_prompt.pdf

を公開しています。

AIとの対話のポイントや安全に使うためのルールなどが整理されており、授業でそのまま活用できる実践的な資料です。

